

平成26年度資源評価票(ダイジェスト版)

[Top](#) > [資源評価](#) > [平成26年度資源評価](#) > [ダイジェスト版](#)

標準和名 ソウハチ

学名 *Hippoglossoides pinetorum*

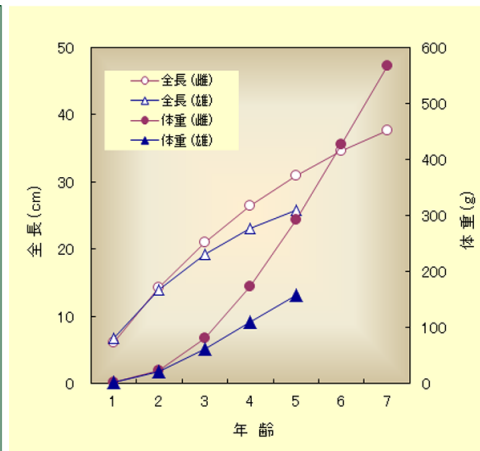
系群名 日本海系群

担当水研 日本海区水産研究所



生物学的特性

寿命: 7歳以上
成熟開始年齢: 雄2歳、雌3歳
産卵期・産卵場: 1～3月、対馬周辺海域および島根県浜田沖
索餌期・索餌場: 日本海西部
食性: エビジャコ類やアミ・オキアミ類を主に捕食、全長15cm以上ではキュウリエソなどの魚類、20cm以上ではホタルイカ等のイカ類が胃内容物中に占める割合が高い
捕食者: 不明

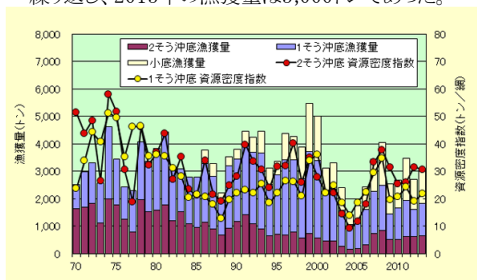


漁業の特徴

大部分が1そうびきおよび2そうびき沖合底びき網(沖底)と小型底びき網(小底)によって漁獲される。1990年代前半までは沖底の漁獲量が総漁獲量の80～90%を占めていたが、近年は小底の漁獲割合が40%前後まで増加した。

漁獲の動向

漁獲統計が整備された1986年以降では1999年に5,000トンを超えるピークが認められた。その後急減して2004年に最低の1,500トン未満まで減少したが、2008年には4,000トンに増加、2009～2010年に減少、2011年に増加と変動を繰り返し、2013年の漁獲量は3,000トンであった。



資源評価法

漁獲量の大半を占める1そうびきおよび2そうびき沖底の漁獲統計資料から求めた資源密度指数とコホート解析により資源評価を行った。

資源状態

コホート解析で推定した資源量(1歳以上)は1999年の13,700トンから2004年には5,800トンまで減少した後2007年は11,500トンまで増加し、その後は微増減をくり返し、2013年は8,800トンと推定された。漁獲割合は2005年に最低の23%となり、2008年には39%、2010年には29%、2013年には34%と増減を繰り返している。漁獲量の比率が高い1そうびき沖底の漁獲統計資料から計算した資源密度指数の最高値と0との三等分点を水準判断の基準とし、2013年は中位水準と判断した。動向について、2009年以降の資源量から横ばいと判断した。



